

設立趣旨書

1. 趣旨

六甲山には約1700種もの植物が自生し、自然が豊かで、大都市に隣接する全国でも唯一の国立公園として貴重な場所である。また六甲山はもろい花崗岩でできており、地形が急峻なため土石流などの災害を起こしやすく、六甲山の自然を保護して森林を維持することは防災上、重要である。しかしながら六甲山周辺の市民がこの自然の豊かさと重要性をよく理解していないのが現状である。特に子どもたちはパソコンやテレビゲームの普及により自然への関心が大人以上に薄れており、六甲山の環境保全の将来がますます危惧されている。

そこで六甲山の自然の豊かさと重要性をより多くの市民に知ってもらうことによって、市民に自然を大切にすることが醸成されて、これが六甲山の環境保全につながるという理念のもとに、2年前に市民を対象として環境教育を実施する任意団体を設立した。具体的な活動として、六甲山の自然についての講演、六甲山での自然観察会や六甲山の自然を教材とした子ども向けネイチャークラフト、ネイチャーゲームなどを実施してきた。今までにのべ約3000名もの多くの市民の参加があり、この活動が公益性の高いものであることを実感した。

しかしながら、活動の規模が年々大きくなっており、継続性などの課題を考えると今までのような任意団体のレベルでは活動に限界がある。一方、市民と一体となって環境保全活動を進める地方自治体や社会貢献活動（CSR）の一環として環境保全活動を始める地元民間企業も多くなってきたが、地方自治体や企業の要員だけでは活動できず、その担い手として環境保全活動を目的としているしっかりとした団体が重要になってきている。そこで市民、地方自治体およびこの活動に賛同する民間企業との連携を図り、社会的責任をもって活動を継続するために特定非営利活動法人の設立を目指すこととした。

2. 申請に至るまでの経過

- | | |
|---------------------|---|
| 平成16年4月 | 上記趣旨に賛同する森林インストラクター(全国森林レクリエーション協会認定)2名が発起人となり、任意団体『六甲山の自然を学ぼう会』を結成した。 |
| 平成16年4月
～平成18年4月 | 灘浜サイエンススクエアおよび兵庫県立自然保護センターをフィールドとして一般市民を対象に環境教育、体験学習を実施してきた。のべ35回のイベントを実施した。回を増すごとに参加者数が増加し、1回のイベントで50～100人が参加する規模となった。 |
| 平成18年4月 | 任意団体のレベルでは活動に限界があり、特定非営利活動法人の設立に向け、準備会を発足し、設立総会への準備に入る。 |
| 平成18年9月 | 特定非営利活動法人六甲山の自然を学ぼう会の設立総会開催 |

平成18年9月30日

特定非営利活動法人 六甲山の自然を学ぼう会
設立代表者
氏名 清水孝之